

開 倫 塾 2025/10 KAIRIN JUKU NEWS

- 全教科、学力大幅アップ、偏差値アップのために、
まとめノート(My Notebook)を作成しよう！

塾長 林 明夫

- 日曜ゼミ(北関東) 野木校校長 添田仁美

- N I E活動 総和校 小笠原孝

- 塾生のひろば

谷田部校

- 私の勉強方法 No. 202

茨城県立古河中等教育学校(岩井校) 3年 H・T

- 私の勧める勉強方法 悩まずにレベルアップできる、自主学習の方法

八千代校校長 奥野修一

悩まずにレベルアップできる、自主学習の方法

八千代校校長
奥 野 修 一

1. 勉強を始める前の準備

まずは、何をどれくらい勉強するのか、目標を決めましょう。例えば、「90分間、英語のワークを20ページ、残りの時間は歴史の教科書を音読」などです。出された宿題であっても、自分でやると決めることが大切です。すると、「やらされている感」が無くなり、モチベーションと集中力が上がります。



開倫塾 八千代校

2. 基本問題のやり方

「何度やっても必ずできる」状態になるまで何度も繰り返しましょう。自分へのテストだと思って毎回真剣に取り組んでください。間違えた問題は必ずやり直してできるようにしましょう。「わかったつもり」にならないように気を付けましょう。

常に音読することを意識しましょう。声は実際に出さなくても大丈夫です。脳内で、自分自身と二人で対話しながら勉強します。これがとても大切です。飽きずに、長時間集中して机に向かえると思います。

正確さに加えて、スピードアップも目指しましょう。ちょっとした工夫が大きなスピードアップにつながります。「速く」&「早く」です。何をするにも大切な心構えです。

3. 難しい問題への向き合い方

難しい問題に取り組んでいるときの、二つの場合についてお話します。

◇答えに近づいているとき…全力で考えているときに脳が成長します。たっぷり時間をかけましょう。ただし、時間の使い過ぎには要注意です。良い意味でのあきらめも肝心です。

◇答えが遠すぎて見えないとき…いさぎよく解答・解説を読みましょう。ここにたっぷり時間を使ってください。そして、一晩ぐっすり眠ってから再チャレンジしましょう。睡眠中に脳が情報を整理してくれます。明日の自分に期待しましょう。

最も大切なのは集中力です。できるようになるまで、あきらめずに頑張りましょう。



If you can dream, you can do it!

(もしあなたが夢をみる事ができれば、あなたはそれを実現することができる)

開倫塾ホームページアドレス ● <http://www.kairin.co.jp>

第441号



全教科、学力大幅アップ、偏差値アップのために、
まとめノート(My Notebook)を作成しよう！

開倫塾 塾長

林 明 夫

開倫塾教育目標
高い倫理力
高い学力
高い国際理解
自己学習能力の育成

Q 中学生、高校生はもちろん、大学生、大学院生、さらには、公務員やビジネスマン、エンジニアやケアマネジャー、医師や薬剤師、裁判官や弁護士、検察官を目指す人にも役立つ、「効果の上がる学習方法」とは何ですか。あれば教えてください。

A (林明夫。以下省略)

(1) 半年以内に受験を控えた高校3年生、中学3年生、小学6年生の皆さんだけにでなく、1年半後、2年半後に受験を控えた、高校1・2年生、中学1・2年生の皆さんにとって、学校の定期試験で100点満点を取り、業者模試で、偏差値50突破、60突破、70突破は、人によっては最大の関心事項だと思います。

(2) その絶対条件は、勉強すべき教科書(テキスト)を一冊決め、「深く狭く」に徹して、その内容をよく学ぶことです。

(3) 「教科書(テキスト)」を学ぶ際には、「大切なことを、ノートに書き写しながら学ぶこと」です。「My Notebook」づくりをおすすめします。



Q えっ、ノートづくりですか。どんな大きさのノートを使えばよいのですか。

A (1) 少し大きめの、「A版のノート」をおすすめします。

(2) 今までは、よほど大きな文具店でなければ手に入りにくかったのですが、最近では、コンビニエンスストア「ローソン」の「無印良品」、文具「のこら」で手に入ります。

(3) ローソンでA版のノートを買えば、め、教科書(テキスト)の「まとめ

ノート「My Notebook」を、各教科の各分野ごとにお作りになることをおすすめします。

Q その「A版のまとめノート」「My Notebook」には、「教科書(テキスト)」の何を書き写せばよいのですか。

A (1) まず、「章(Lesson)名」や「学習項目」を書き写す。次に、「重要語句」とその「定義(意味)」を、例えば、「とは、である」という重要語句の内容を書き写す。

(2) ことばの意味、定義は、何も見ずに、正確に言えるようになるまで「音読練習」。何も見ずに、正確に書けるようになるまで「書き取り練習」。

教科書に出てくる語句で、意味がわからなければ、辞書を用いて全部調べ。辞書で調べたことは、全部書き写し、その場で全部覚える。

(3) 固有名詞、例えば人名、地名、年号(西暦)などは、全部書き写す。「地名」は、「地図帳」で必ず場所を確かめる。「年号(西暦)」は、「歴史年表」で必ず確認。「人名」「地名」は読み方を確認し、正確に書けるようになるまで、「書き取り練習」。



Q 数学などの「教科書」や「学校問題集」の計算や問題は、どうしたらよいですか。

A (1) 「まとめノート(My Notebook)」に、計算・問題を書き写し、自分の力で全部解く。

(2) 一度解いた問題、授業で先生に教えていただいた問題も、もう一度、

自分の力で全部解き直す。

(3) 教科書の問題を「まとめノート(My Notebook)」に書き終えたら、その後に、教科書の内容に沿った学校問題集の問題も、「まとめノート(My Notebook)」に、自分の力で全部解く。

Q このほかに「まとめノート(My Notebook)」に書いておくといことは何ですか。

A (1) 一度解いて間違えた問題とその正解を、全部書き写し、なぜ間違えたのか、その原因をメモすることをおすすめします。

(2) 予習をしていて、よくわからないことや自分で調べたことも、「メモすること」をおすすめします。

(3) 教科書の内容について、興味関心を持ち、自分で調べたり考えたりしたことも、必ずメモし続ける。



Q 最後に一言どうぞ。

A (1) ①各教科を勉強する前に、必ず、このノートを、1ページから読み直す。

② 定期試験は、このノートを、スミからスミまで全部覚える。

③ 模擬試験も、試験範囲を、このノートを中心に、「復習」「定着」させる。

(2) ① 中学入試、高校入試、大学入試、大学院入試、国家試験、就職試験も、このノートを中心に、「復習」「定着」させる。

② 中学、高校時代に作った各教科

・各分野の「まとめノート(My Notebook)」は、大学でも、大学院でも、社会に出てからも役に立ちます。

③ この「まとめノート」を、一生役に立つ、皆様の「宝物」「幸福の青い鳥」にお育てください。大切に、大切に、一生かけて、お育てください。

○「積小為大(せきしょうだい)」、小さいことでも、コツコツ積み上げれば、大を為す、大きな志を為し遂げることが出来ます。(二宮尊徳の教えです)

(3) ① この「まとめノート(My Notebook)づくり」は、「授業が始まる前や、授業の進度に合わせて行っても、OK」です。

② 「授業が全部終わった後、定期試験前、模擬試験対策、入学試験対策の勉強勉強として行っても、OK」です。

③ 「学校を卒業して、しばらくしてから行っても、OK」です。○いつからスタートしてもOKですが、この「まとめノート(My Notebook)」は「宝物」「幸福の青い鳥」ですから、学校を卒業しても決して処分しないで、大切に保管。書き加え続け、ご自分の「My Notebook」にしてください。



(宇都宮大学大学院工学研究科客員教授)
作 新 学 院 大 学 客 員 教 授

日曜ゼミ(北関東)

NIE活動

野木校長
添田 仁 美

1. はじめに

公立高校の受験まであと4か月となりました。この時期の受験生に必要なものが、実践的な問題に取り組むことです。土曜ゼミで小問ごとの対策がしつかりできるようにしたら、問題全体を通して見通しを立てることが必要です。これらを効率的に行うことができれば、開倫塾の日曜ゼミです。教科は英語・数学・国語・社会・理科の5教科で、授業時間は7時間です。「テスト&ゼミ」形式を進める授業です。各教科とも、公立高校入試の類似問題を演習ができます。また、その日のうちにどのくらいの点数が取れたかがわかり、間違えた問題の解説を聞くことができるため、1日で効率よく勉強ができる講座です。以下に、日曜ゼミの二つのメリットについてお話しします。

2. 得点力を身に着ける

一つ目は、毎回時間を計って公立高校入試の類似問題を解くため、回数を追うごとに得点力を身に着けることができます。志望校によって、必ず得点すべき問題、時間をかけても解かなければならない問題、または時間がかかるとなれば、次は問題へ進んだ方がよい問題などさまざまです。また、これらは受験生一人一人異なります。それらを担当の講師からアドバイスを受けると、限られた時間を有効に使う力が身に着き、得点に結び付きます。さらに、毎回目標点数を設定して臨むと、モチベーションの維持にもつながり、目標達成に向けて頑張ることができそうです。加えて、入試本番と同様に時間を計って問題に取り組みくことで、集中力を高めることもできます。



す。簡単な問題を早く正確に解ける力に身に着け、難しい問題に時間をかけるような時間配分を体感することで、入試本番でも集中力を持続する力を養うことができます。

3. 弱点を見つけ補強する

二つ目は、テストが終わってすぐに解答・解説を行うため、明確になった自分の弱点をその日のうちに解決することができる点です。ただなんとなく問題を解いて○や×をつけているだけでは意味がありません。×になった問題が、どのような原因で間違えたのかを、はっきりと知ることが大切です。例えば、時間があれば解ける問題なのか、計算ミスなのか、問題の読み飛ばしなのか。これらを分類して自分の解答を分析することで、弱点を見つけて、そこを補強するために次の日曜ゼミまでに取り組みくことができます。課題を発見できたなら、次の日曜ゼミまでにそれを克服し、授業に臨むことで確実に得点力を身に着けることができます。



4. さいいに

日曜日は学校の授業もないため、受験生であつても気が緩みがちになります。しかし、目標をもつてモチベーションを保ちながら勉強に邁進しなければ、志望校合格を勝ち取ることはできません。だからこそ、日曜ゼミで、合格分の仕方に必要な答案の書き方、時間配分の仕方、時間内に最大限得点できる力を身に着けることが必要です。私たち講師は、皆さん一人一人の志望校合格が叶うよう一杯サポートしよう。精一杯頑張ってください。

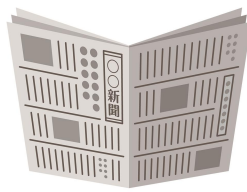


総和校

小笠原 孝

1. 新聞の歴史について知ろう

皆さんは新聞がいつ頃日本に誕生したか知っていますか。それは17世紀の江戸時代です。事件や心中、うわさ話などを木版で印刷した「説書」が街頭で売られるようになり、19世紀には「から版」という呼び名が生まれました。これには、表裏に工夫を凝らしてお上の規制をいくる政治批判や社会風刺の題材もあり、市中で人気を呼びます。1853年のペリー来航もかわら版で広く伝わりました。その後、大政奉還や明治維新にいたる内戦、新政府の体制は政治や時事ニュースの需要を呼びます。このような中、新聞の創刊は必然です。日本初の新聞、横濱毎日新聞が誕生します。日本初の全国紙は1872年、東京日日新聞(のちの毎日新聞)が創刊されました。現在の価値は格別で、一部が1600円くらい高値なものでした。このように、新聞は明治時代から存在し、人々に貴重な情報を伝え続けているのです。



2. 新聞をいろいろなことに活用しよう

皆さんのご家庭では新聞を購読していませんか。テレビやインターネットなどメディアの発達した現代では、必ずしも新聞を購読しなくても生活できるかもしれませんが、新聞は学習に活用できる教材はないのです。では、どのようにして新聞を学習に活用していくのか、皆さんと一緒に考えていきましょう。おそろく皆さんの中には、新しい単語や文法がびっしりと詰まっています。読む気が起こらないとネガティブなイメージを持つ人がいるかもしれませんが、

ません。確かに新聞は文字がびっしりで、なんとなく大人が読むためのものと思われがちです。まずはこのようなイメージを取り除きましょう。新聞は記事のすべてを読み取る必要はないのです。まずは紙面に大きく書かれている「ヘッド見出し」を読んでもいいでしょう。カット見出しには皆さんにぜひ知ってほしいことが短い言葉で書かれていますので、この部分だけでも読んでみましょう。そして、自分の興味のある記事が見つかったら、「リード」と呼ばれる前文や記事の細かい部分も読んでみましょう。新聞を読んでいくと当然わからない言葉が出てくると思いますが、その場合はぜひ辞書で調べてみてください。スマホで調べてもいいですが、紙の辞書を使ったほうが記憶に残りやすいといわれています。

このように、新聞を読み続けていくことで読解力や語彙力がついてきます。さらに、気になった記事や興味がある記事は切り取ってノートに貼り、自分だけの「スクラップブック」を作ってみましょう。自分の好きな記事がいついっばい出てくると楽しいですよ。このように新聞を学習に活用することをNIE活動といえます。

3. 新聞は後世に残していく財産

人類はその昔、紙を作り出しました。紙があつたからこそ当時の様子などが描写され、後世に受け継がれてきたのです。現在は紙よりも便利な媒体がたくさんあり作られます。しかし、新聞は多くの人によって作られたもので、その人たちの思いが詰まっています。新しいテキストです。これからも積極的に新聞を活用して世の中のことを知り、自分の学習に役立てていきましょう。





◆授業前に教科書の解説を見て予習し、授業後に問題を繰り返し解いています。問題を解きながら、どのような問題が出やすいかを考えています。

中2 M・Y

◆授業がある前日や授業前の休み時間に確認テストの勉強をしています。私はとにかく書いて覚えます。何度も何度も書くことで、重要な語句をしっかりと覚えられています。

中2 K・A

◆家では集中できないので、塾の自習室で勉強するようにしています。分からないところは納得するまで先生に質問し、そのあとで自分一人で解けるようにしています。

中2 S・Y

◆1、塾の自習室を利用する。
2、塾の授業後にプリントを解く。
3、分からない問題は分かるまで聞く。
これが私の勉強方法です。

中2 W・K

◆私は、ワークを必ず2周以上解いています。そして、間違えた問題や解けなかった問題は、ノートに写して解けるようになるまで何度も繰り返します。

中2 N・R



谷田部校の塾生の皆さんは、全員が、自分が成長するために必要なことは何かを考えて行動できています。そして、頑張ることに一所懸命になれる、とても向上心のある皆さんです。そんな塾生の皆さんを、私たち講師はこれからも全力でサポートしていきます。

谷田部校校長 松枝達也

私の勉強方法

塾生のひろば

谷田部校

◆僕は、社会や理科は用語を覚えてから問題集を何周もします。英語は文法を覚え、単語も頑張って覚えます。数学は、問題集や学校のワークを何周もしています。

中3 S・Y

◆僕は社会の勉強をするときには、まずは解答を見ないで1回解きます。次に、解答を見て間違えたところに印をつけます。そして、最後に印のついたところをひたすら解きます。

中3 S・K

◆私は、たくさん問題を解いて、公式の使い方に慣れたり、背景の出来事を細かく覚えたりするようにしています。

中3 S・A

◆私の勉強方法は、ワークを何回も解くことです。何回も解いて、分からない問題がないようにします。また、間違えた問題には印をつけ、なぜ間違えたのか分析するようにしています。

中3 S・H

◆私は、1回目は答えを見ながら青ペンでノートに書き、2回目は答えを見ずにノートに問題を解き、3回目は2回目でも間違えたところをしっかりと覚えてからノートに解きます。

中3 T・A

◆ワークの問題を何周もし、間違えた問題は次にできるように粘り強く解いています。間違えた問題には印をつけて、自分の苦手を明確にしています。

中3 M・Y

◆私は、暗記よりも理解を大切にしています。教科書をよく読み、自分の言葉で説明できるようにしています。勉強が終わったら好きなことでリフレッシュし、やる気を保ちます。

中3 N・M

◆社会の勉強は1週間で2ページやります。毎日同じ2ページを繰り返すことで、語句と記述を定着させることができます。

中3 M・A

◆時間があるときには、YouTubeで苦手な分野の一問一答を調べて勉強しています。また、問題集を何度も繰り返して解けるようにしています。

中3 A・S

◆私は、授業がある前日までに確認テストの勉強をしています。前日までに勉強することで、授業直前にあせることなく、落ち着いてテストに臨むことができます。

中3 A・M

10月日程表		
1	水	
2	木	
3	金	
4	土	第2回英検1次 栃木放送開倫塾の時間
5	日	都立Vもぎ①(東京)
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	月例テスト 中3土曜ゼミ④(北関東) 中3入試対策ゼミ⑤(東京) 栃木放送開倫塾の時間
12	日	群馬県統一テスト(中3)⑥ 中3入試対策ゼミ⑥(東京)
13	月	スポーツの日(授業あり 北関東・東京)
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	中3土曜ゼミ⑤(北関東) 中3入試対策ゼミ⑦(東京) 栃木放送開倫塾の時間
19	日	都立Vもぎ②(東京)
20	月	
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	第2回漢字検定 中3入試対策ゼミ⑧(東京) 中3土曜ゼミ⑥(北関東) 栃木放送開倫塾の時間
26	日	下野模試(中3)④ 茨城統一テスト(中3)⑤(中1・2)④ 都立Vもぎ③(東京)
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	

※ 8月31日現在の予定です。

CRT 栃木放送「開倫塾の時間」・ラジオ栃木放送(1530kHz、1062kHz、864kHz <http://www.crt-radio.co.jp/>) 毎週土曜日午前9時15分～25分。塾長林明夫が、塾生だけでなく社会人も含めて一生涯活用できる「効果の上がる勉強方法とは何か」をテーマに、39年間語り続けている世界に1つしかないラジオ番組です。

学力の向上を目指して…

私の勉強方法 No. 202

茨城県立古河中等教育学校(岩井校) 3年

H・T

1. 自分に合った勉強方法で

私には、自分に合った勉強方法が2つあります。それは「毎日少しずつ復習をすること」と「自分で説明してみること」です。

2. 毎日コツコツと復習を

まず、私はその日に学校や塾で習ったことを、家に帰るバスや車の中で、また、家に帰ってから、ノートを見返して復習するようにしています。短い時間でもいいので、その日のうちにもう一度思い出すことで、記憶に残りやすくなると感じています。記憶が定着しやすくなるのでとても効果的だと、塾の先生にもほめられています。

定期テストの前にあわせて勉強するよりも、普段からコツコツとやっておくほうが、気持ちにも余裕が出て、よい順位がとりやすくなります。



3. 自分で説明できるように

次に、自分で説明してみることも大切にしています。例えば、覚えたい歴史の出来事や理科のしくみを、まるで先生になったつもりで自分の言葉で声に出して説明します。うまく説明できないところは、自分がまだよく理解できていない部分だと気づくことができます。この方法は、友達に教えるときにも役立つのでとても便利です。



人によって合う勉強方法は違うと思いますが、私にはこのやり方が合っていると思います。これからも自分に合った方法が続けて、楽しく学んでいきたいです。

「開倫塾ニュース」2025年10月1日号

編集者＝開倫塾教務部

発行所＝開倫塾

(栃木県足利市堀込町145 TEL0284-72-5945)

発行責任者＝林 明夫